

事業の基礎情報

実施主体	湘南モノレール株式会社
事業実施地域	神奈川県藤沢市・鎌倉市
共創の類型	他分野共創
他分野共創の類型	商業・農業 ・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	Koeeru、長谷寺、江の島観光会、長谷三商店会
運行形態	鉄道
運行主体	湘南モノレール

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

藤沢・鎌倉両市は、国内でも有数のオーバートーリズム（観光公害）に関する課題を抱えている地域である。公共交通機関の混雑や、道路渋滞などの課題が生じている。要因として、観光客の周遊ルート・目的地が特定の行程に偏っていることが考えられる。観光客に対して、混雑を回避できる移動ルートや観光施設を提案することが有用だが、現状では有効な取組みが実行できていない。湘南モノレールの新たな決済サービスによる運賃施策、地域の観光施設が連携したプロモーションを実施することで、課題解決に繋がることを期待する

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

無

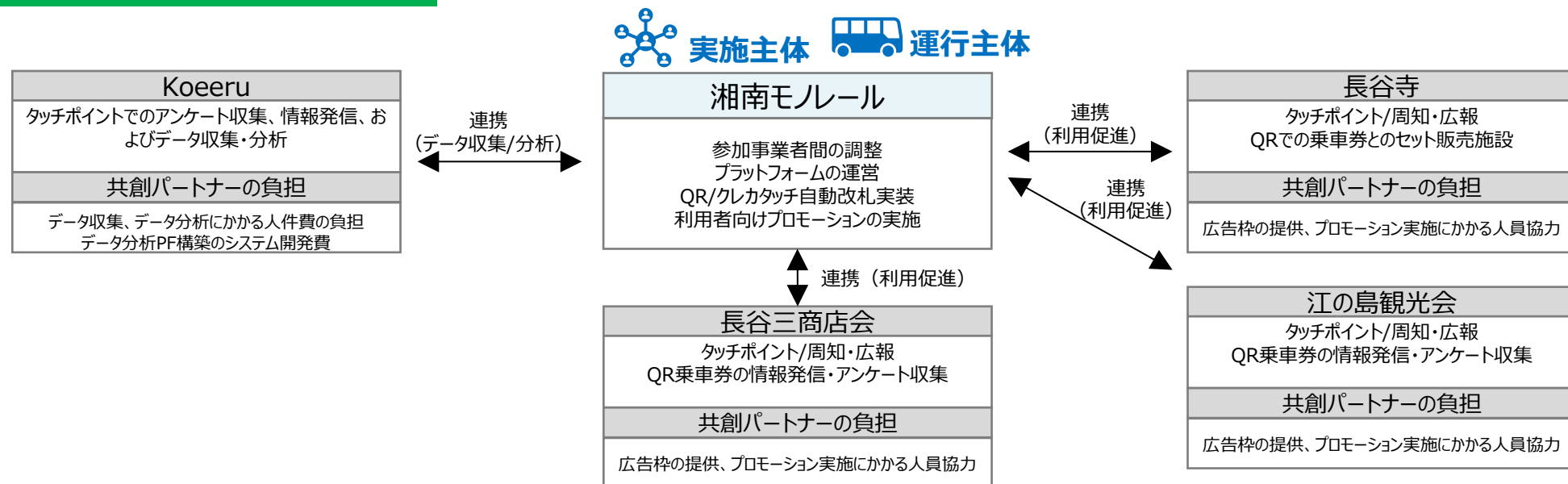
運輸局・運輸支局への事前相談

関東運輸局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

湘南モノレールではQRコード乗車券、クレカタッチ決済を活用した新たな乗車券サービス、運賃施策を提供する。「長谷寺」「江の島」「長谷三商店街」など現地のタッチポイントと連携し、プロモーションと行動変容を促す。Koeeru社が実施するアンケートのデータ分析と組合せ、行動変容の効果検証を実施する。

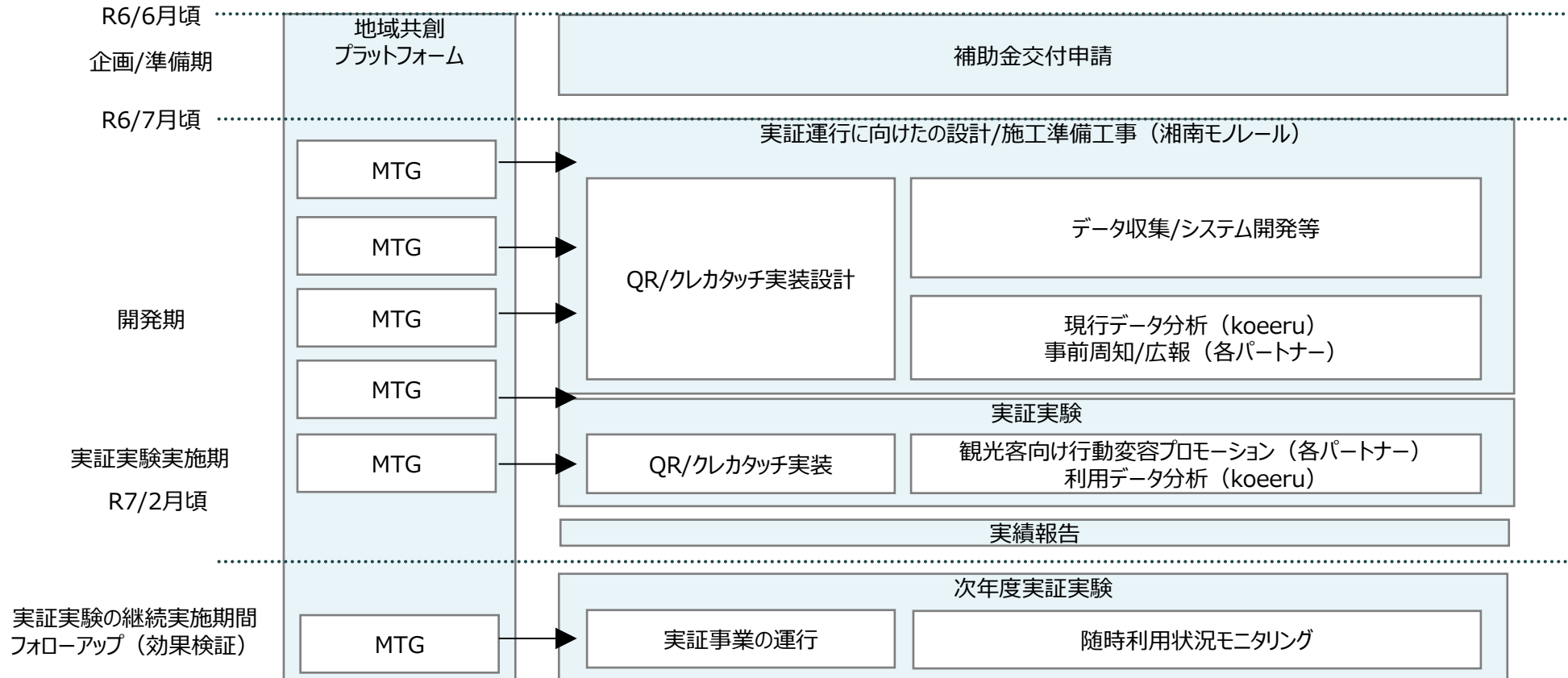
(地域の関係者との連携・協働)

湘南モノレール沿線の観光施設と連携し、旅ナカ（旅行中）の観光客に対し行動変容を促すプロモーションを実施する。交通機関単体ではなく、地域の施設と連携することで、混雑を避ける観光ルート、観光施設の効果的にプロモーションできることが期待できる。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

本事業を実施することで、地域の公共交通ネットワークの混雑緩和が期待できる。

事業実施手順・スケジュール



取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

○旅行前、旅行中の観光客に対する新たな観光ルート・観光施設の提案により、特定のルートに偏る観光客の行動パターンの分散が期待できる。既存交通の混雑緩和により、観光客の満足度向上とともに、地域の生活利用者の利用増加も期待される。

（地域全体に及ぶと想定される効果）

○観光客の受け入れの分散化により、交通機関や観光施設の混雑が解消されることで、観光客の満足度が向上することで、観光客入込数の増加・地域経済への好影響がも期待できる。本実証事業で得られた交通機関の利用データ、商業・観光施設の来訪者データを地域全体で共有することで、持続的な取組の継続が期待できる。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
○	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	○	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

今年度のタッチポイント各所の観光客来訪者数を基準データとして、次年度以降も継続的にデータ収集を行う。収集されたデータは地域のCRM基盤とも連携し、本実証事業に限らない地域の課題解決に活用していく。次年度以降は、本枠組みへの参画事業者を増やし、より幅広い分野の連携とMaas機能の拡充を図る。

資金面	事業費は湘南モノレールが負担予定
人材面（運転手の確保）	既存運行を活用した実証のため、新規人材確保は行わない